

# 子ども真ん中の学校

～かがやく海が見える丘よい～

令和7年6月5日  
長崎市立畝刈小学校  
学校だよりNO. 38  
校長 田中 成年

## <子ども真ん中教育>

～子供の主体性と課題解決能力～

時々お伝えをしている子供たちの外遊びの様子です。この日もとても天気が良く、外で元気に遊ぶ子供たちの姿が見られました。



人気のシーソーやジャングルジムで楽しく遊ぶ姿が見られます。登り棒もお気に入り遊具の一つのようです。



たくさんの子供たちが学級の友達や違う学年の友達と遊んでいます。1年生と6年生はペア同士で遊ぶことも多いようです。



こちらはわたり棒です。自分の体重を両腕や片腕で支えながら端から端まで行くには力がいらいます。子供たちは何度も楽しそうに挑戦しています。



人気はもう一つ。砂場です。深い穴を掘ったり、山を作ったりしています。特に何かを目指しているわけではないようなのですが、砂を触った感触が良かったり、友達とわいわい話しながら何か作ったりしているのが楽しいようです。日陰もあるし最高ですね。

このように、子供たちは毎日友達と一緒に楽しく過ごしていますが、子供ですから時には意見が合わなかったり、自分の意見を押し通したり、気に入らないことがあると相手の気を引きたいがために意地悪をしてみたりして、けんかや一方的な意地悪をすることがあります。けんかなどをしたときは、子供たち同士自分たちで解決をすることが大切ですが、なかなか解決できない子供たちもいます。そのような時は、上級生が間に入り話をしたり、時には大人が入り互いの話を聞いて仲直りができるようにしたりすることも時には必要です。

一番は、昔のように子供たちが自分の力で解決したり、上級生が間に入って解決に導いたりすることが、子供たちの成長につながるのではないかと思います。

大人は見守り、どうしたら解決できるのかを子供たちに考えさせる時間をとり、どうしても難しい時に話を聞いて解決に導く方がよいのかもしれませんが。

### 「豊かな心を持ち、自ら考え行動する児童の育成」

本校で育てたい子供たちの姿です。